

「とさにき」かながきげんだいごやく

仮名書き現代語訳をもとに、ノートに写した本文に傍線注釈をしなさい。(仮名書きを常用漢字に直すこと。《 》内は自分で辞書を引き適切に現代語訳をすること。)

担当に当たったグループは、授業開始前に黒板に傍線注釈を書き、誰でも下段にある問に答えられるように準備しておくこと。

- ①だんせいも《 》、じよせい(であるわたし)もかいて《 》と《 》、かく《 》。《 》

②あるとしのじゅうにがつのにじゅういちにちの《 》《 》ごろに、しゅっぱつをする。

③その《 》《 》を、《 》《 》。

④《 》《 》、じむひきつぎなども《 》《 》、げゆじょうなどをうけとって、《 》《 》かんしやからでて、ふねにのる《 》。《 》。

⑤あのひとこのひと、《 》《 》、みなが《 》。《 》。

⑥《 》《 》は、《 》《 》、なにやかやとしては、《 》《 》。

⑦にじゅうにちに、いづみのくにまでは(せめて)、《 》《 》。

⑧《 》。

⑨(みぶんの)じようちゅうげのものみなが、じゅうぶんよっぱらって、《 》《 》、しおからいうみのほとりで、ふざけあった。

⑩にじゅうさんにち。《 》。

⑪このひとは、こくしのやくしよで《 》《 》ひとでも《 》。

⑫このおとこが、いかめしくりっぱなようすで、《 》《 》。

⑬こくしのひとがら(がよいため)《 》《 》、いなかのひとのにんじようのつねとして、「いまとなつては(ようもない)。」といつてかおを《 》《 》《 》、ひとめをきにせず《 》。《 》。

⑭これは、せんべつのおくりもの(をもらったこと)に《 》《 》。

⑮にじゅうよつか。こくぶんじのそうりよが、《 》《 》。

⑯《 》《 》、こどもまでが《 》《 》、「いち」というもじを《 》《 》、そのあしは「じゅう」もんじに(ちどりあしを)ふんであそびきようじている。
- ①二つの「なり」の識別方法は？

②十二支と時刻、方角の関係は？

④「べき」を文法的に説明しなさい。

④「ある人」とは誰？

⑤ここは今の何県？

⑧「ど」を文法的に説明しなさい。

⑧この「しやれ」の説明をしなさい。

⑨「いとあやしく」とあるのは何が「あやし」なのか？

⑪「ざるなり」を文法的に説明しなさい。

⑬「国司」とは誰のことか？

⑬「ざる」を文法的に説明しなさい。

⑮「出でませり」を文法的に説明しなさい。

⑯「遊ぶ」を文法的に説明しなさい。

⑰文中よりワ行が含まれている(活用の行がワ行ということではない)用言を見つけて、左を埋めなさい。

文中の動詞は……		行		活用		形	
基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形